

『まるごと日本のことばと文化』 理解編の教え方

2018年1月16日(火)
『まるごと』教師養成講座

サンパウロ日本文化センター
遠藤クリスチーナ麻樹
makiendo@fjssp.org.br

今日の目標

- りかい編の各パートの目的と効果的な教え方を説明することができる

おさらい：

『まるごと 日本のことばと文化』

- 目的：「相互理解の日本語」

日本語を使ってコミュニケーション
異文化を理解し、尊重(そんちょう)すること

- 対象：海外の成人学習者

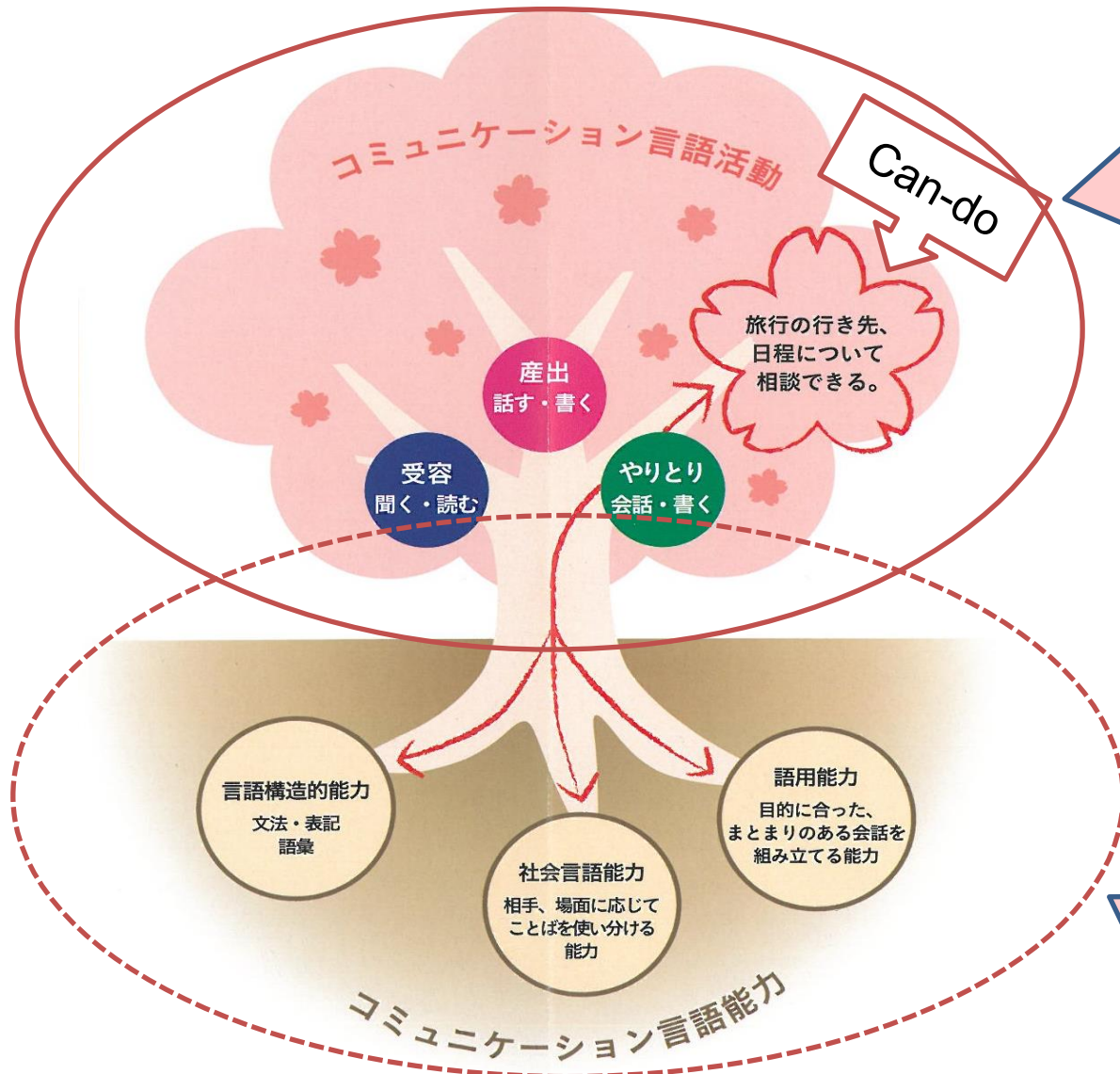
- レベル：入門(A1)～中級2(B1)

- 特徴：JF日本語教育スタンダード準拠

課題遂行型(かだいすいこうがた)の言語学習デザイン
豊富(ほうふ)なイラスト・写真・音声

- 時間数：1冊(9トピック)40～60時間

おさらい： JFスタンダードと2つの『まるごと』



言葉を使って
何かを「する」
(主に)活動編

コミュニケー
ションの基礎
(主に)理解編

理解編の各課の流れ

- 入門理解編の第14課を見てみましょう（126～132ページ）
- 四技能（読む、書く、話す、聞く）別でみてみると、どんな順番になっていますか。

アイコン



ごいちょうを みましょう



おんせい



にほんごチェックを しましょう



きいて チェックしましょう

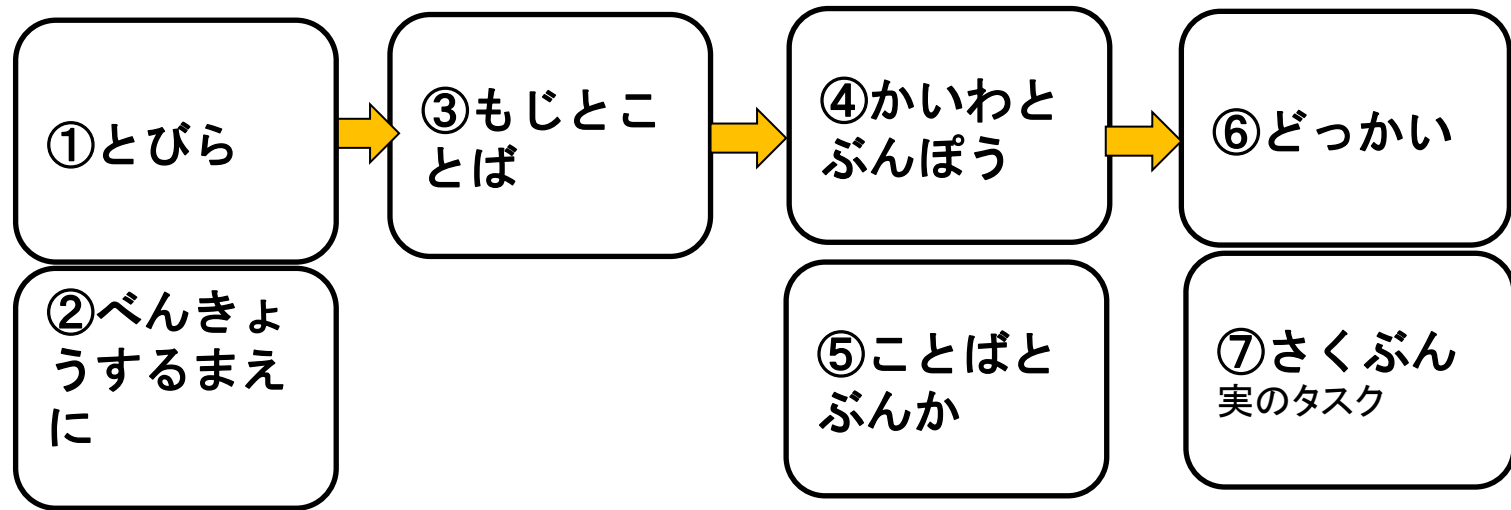


ポートフォリオに いれましょう

- どんな特徴が見られますか。

理解編の各課の流れ

明示的知識(めいじてきちしき)を利用

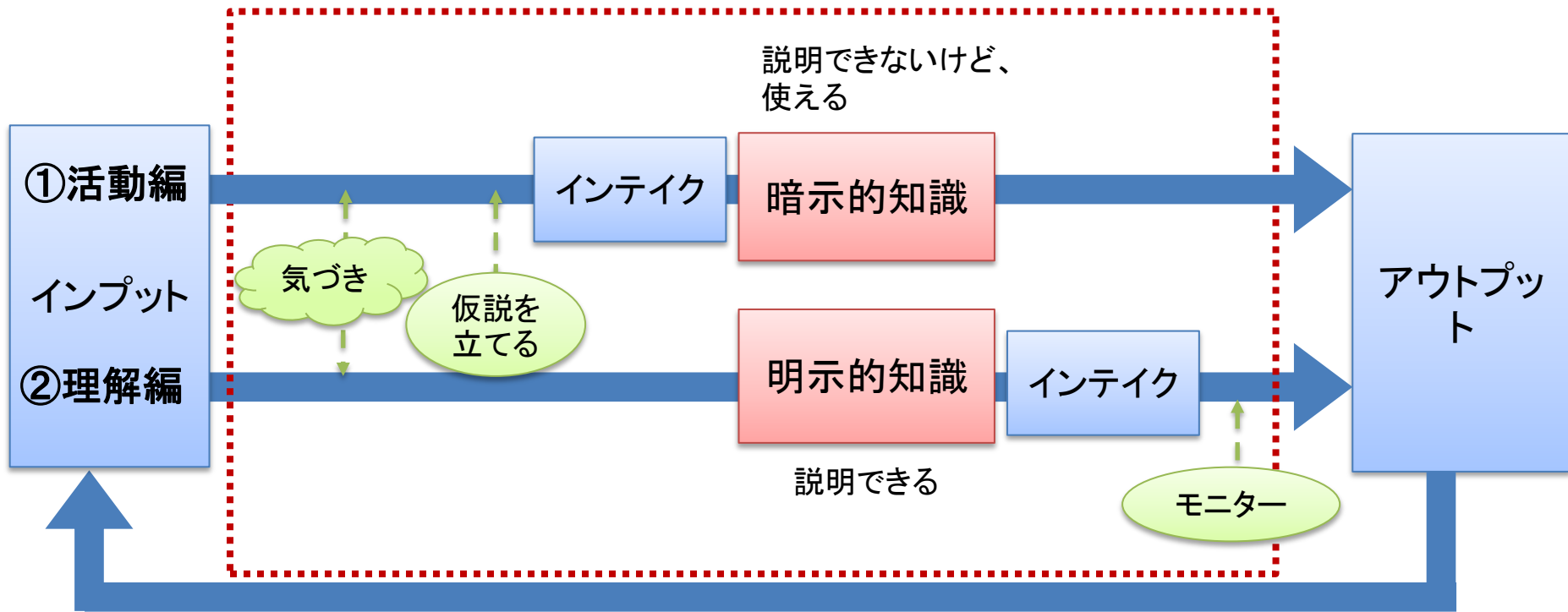


言語知識の理解を確認する練習
と少し話す

評価

⑧にほんごチェック

言語習得のプロセスが埋め込まれた教科書



理解編の各課の流れ

- 入門 (A1) 理解の第14課を見てみましょう。
- 各アクティビティはどんな目的があるのでしょうか。
- どのように学習者に教えたらいいのでしょうか。
- グループで話し合みましょう。

どんな目的？どう教える？

1. とびらページ／べんきょうするまえに
 2. もじとことば
 3. かいわとぶんぽう
 - ・モデル会話
 - ・文の構造
 - ・練習
1. どっかい
 2. さくぶん
 3. にほんごチェック

『まるごと』関連のサイト

- まるごと (教材ダウンロードページや教師用リソースページがある)

<http://marugoto.org/>

- まるごとPlus (『まるごと』の学習支援サイト)

<http://marugotoweb.jp/>

- JFまるごと日本語講座 (サンパウロ)

<http://fjsp.org.br/marugoto/>

今日の目標

- りかい編の各パートの目的と効果的な教え方を説明することができる

参考文献

- 来嶋洋美・柴原智代・八田直美（2014）「『まるごと 日本のことばと文化』における海外の日本語教育のための試み」 『国際交流基金日本語教育紀要』第10号 115-128
- 国際交流基金（2013）『JF日本語教育スタンダード2010利用者ガイドブック[第二版]』国際交流基金
- JACET SLA研究会（編）（2013）『第二言語習得と英語科教育法』開拓社
- Ellis, R. (1995) Interpretation tasks for grammar teaching, *TESOL Quarterly*, 29(1), 87-105.